

## 申合せ及び注意事項

1. 本大会は、平成 30 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
2. すべての競技参加者は、ルールを順守し、フェアプレーの精神で試合に参加する。
3. ベンチには、有効に登録された部長 1 名、監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、トレーナー 1 名、選手 14 名の計 19 名以内の着席を認める。選手の参加申込人数は、「部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャー各 1 名、選手 20 名以内の計 25 名以内とする。(但し、マネージャーは当該大学生であること。)\*1 部リーグ校に関しては別途要項の通りとする。
4. 試合毎に 14 名までを選抜することとする。なお、公式ウォームアップに際しては 19 名以外の者にユニフォームを着用しない者 5 名がとなりのコートにボールが入らないためのボール拾いを認める。
5. 試合日程中の部長・監督の交代については、代表者会議時にエントリー変更用紙による正式届け出があった場合のみ、有効にエントリーされたコーチまたは OB 等が代理として任務を代行することができる。なお、部長・監督・代理監督とも I V A における ( T S ) 登録済であることが条件となる。
6. 部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナーの記章はチームで準備する。記章のついていない場合は、ベンチに入ることを認めない。なお、記章は胸につける。
7. 部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナーが遅れてきた場合は、すぐにベンチへの着席は認める。  
監督はセット間に記録用紙へサインをした後、次のセットから任務に就くことができる。選手の場合はすぐに試合に参加できる。
8. トスは前試合終了後ただちに記録席前で行う。トスに勝った者がサーブ権(サーブをするか、サーブを受ける権利)または、コートを選ぶ権利の 2 つから 1 つを選択できる。サーブ権を得たチームから先に公式ウォームアップを行う。
9. 公式記録用紙への監督、主将のサインは公式ウォームアップ前に行う。
10. リベロプレーヤーはエントリーした選手が 12 人以下の場合(0,1,2)人まで登録でき、13 人以上の場合 2 人登録しなければならない。背番号の若い方のリベロを記録用紙の上段に記載する。  
また、他の選手と明瞭に異なるユニフォームを着用する。リベロは、チームキャプテン及びゲームキャプテンにはなれない。ただし、プログラム等に記載の主将やキャプテンにはなれる。
11. アンダーシャツの扱いは、チームメンバー全員が同じ場合のみ認める。また、パワーパンツは一切見えないようにすること。
12. タイムアウトの要求は、必ず公式ハンドシグナルを使用する。
13. 試合中のボールの処理は、選手間で行う。
14. メンバー用紙は前試合の 1 セット終了までに本部席に、ラインナップシートは公式ウォームアップ時に副審に提出する。
15. 2 試合目以降は前試合終了後 5 分間(1 部は 10 分間)の合同練習を行い、その後公式ウォームアップに入る。2 試合目以降もプロトコールにそって行います(ただし 2 試合目以降は、前試合の終了後にプロトコールの時間を放送)。
16. ユニフォームの番号は 1~99 番までの数字とする。ただし、1~20 番までに一連の数字を用いることが望ましい。
17. 試合中、ベンチの選手はウォームアップゾーンで待機するか、ベンチに着席する。
18. 部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー、選手の最終登録は代表者会議の際にエントリー変更届を持って決定する。それ以後は部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー、選手、背番号の変更は一切認めない。違反が発見された場合はすべての試合を没収とし、ペナルティーとして下の部の 1 位に降格する。
19. ベンチには部旗(矢尻を外したもの)、飲料水、救急用品などの必要品以外は持ち込み禁止とする。
20. 開閉会式において、各チームはユニフォームを着用する。但し、チームで統一するものであればジャージも認める。
21. 副審、ラインジャッジ、点示、IF、リベロチェック、特別記録は割当表に従い責任を持って担当する。

### (注意事項)

1. 貴重品、所持品の管理はチームで責任をもって行う。
2. チームで出たゴミは、原則持ち帰りとする。施設にゴミを残さないようにすること。
3. 練習会場は特に設けない。試合前の練習は注意事項を守り行うこと。特に、指定された場所以外での練習は厳重に禁ずる。
4. 体育館内外での靴の区別ははっきりする。
5. 大会期間中に選手が負傷した場合、応急手当(医者にみせるまでの応急処置)はするが、それ以降の責任は負わない。
6. 各市町の体育館では使用上の注意事項が異なるので、代表者会議での説明にて各チームへの徹底を図る。